



2019年8月20日

22期東海教区女性会
発行責任者*坂井茂子

22期 主題：私たちはぶどうの枝

～～まことのぶどうの木につながって～～

私たちはぶどうの木、あなた方はその枝である

人が私につながっており、私もその人につながっていれば

その人は豊かに実を結ぶ [ヨハネによる福音書15章5節]

<巻頭言>

「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」創世記12章1節

挙母教会 室原康志牧師



皆さんは幼い頃に「大きくなったら何になりたい？」との問いを受けたことがありますか。わたしは、この“問い”に対して“親の職業”や“安定した仕事”（冒険心など微塵もありません）を答えました。熊本の山奥、自然に囲まれた環境での生活こそが自分の世界だと思っていたのです。資格を取るために外の世界に出て行く機会があっても、生まれ故郷から離れて過ごし続けることは想像もできませんでした。

ところが、信仰によってそれまでに考えていた「自分の生まれ故郷で過ごし続けること」が、「わたしが示す地に行きなさい」という言葉に送り出されました。その時のわたしの年齢は32歳を迎える年でした。神学生として過ごした時間だけでなく、按手後も時々思ってしまうのですが、これからどうなるのだろうかという不安の感情を抱えます。主の導きに従って歩もうとしながらも、人間的な成果を求めて歩もうともするのです。

旧約聖書に登場する“アブラハム”が、まだ“アブラム”と呼ばれていたとき、大いなる国民となるという神の約束を信じて故郷を去り、新しい土地へと出発したのは75歳の時です。特に決まった土地があるわけでもなく、目指す方向への道もはっきり示されたわけでもありません。あてのない旅でしたが、アブラムは命じられたまま約束だけを信じて故郷を出ます。途中、“アブラハム”という名前をいただきながら、約束の地カナンに至るまでの旅を続けます。

アブラハムは終の住処を迎える準備の年齢で、先に何があるかわからないが、“ある”と信じて一歩を踏み出し、旅を続けました。その一歩は、結果よりもそうなる信じて踏み出したものです。信仰の歩みは運任せに歩むのではなく、主の導きを信じての歩みです。齢を重ねる中で主の恵みは時に大胆さを求めることがあります。その呼びかけに応えられるよう歩みたいものです。



東海教区女性会の集いを終えて

稲垣八重子（高蔵寺教会）

高蔵寺教会へようこそ、会場教会として、お迎えするご奉仕に加えられたことに感謝申し上げます。段差が多く、移動にも常に足元の注意が必要な会場で、高齢者に優しいとはとても言えない高蔵寺に集められた方々の表情から神様の名によって集められ喜びを分かちあう笑顔は感動でした。静岡から大垣までの長い距離をつなぐ東海教区は、沼津・富士・清水・小鹿・掛川菊川・栄光（島田・藤枝・焼津）・新霊山・浜松・浜名・みのり・刈谷・拳母・知多・復活・なごや希望・名古屋めぐみ・高蔵寺・大垣・岐阜の 21 の教会と礼拝所の集いとなり、少子高齢化・会員減少など不安要素の飛び交う時代ではありつつも、可能に変えてくださる神様を信じる信仰の光が、高く高く掲げられたことは誇らしく、困難を共に歩んでくださる主の導きを信じます。連盟を作り、サバを支援し続け、女性が歩いた道のりは、荒れ野でマナをいただくような聖書そのものの歩みだったと思います。過ぎしにくさを感じていた心に、「希望」を取り戻し、御心を感じ合いながら御業を成していく女性会の交わりに多くの喜びと感謝を申し上げます。厳しい時代にも働き人が与えられ、工夫を加えながら繋いで来られた役員の皆様のご奉仕に心より感謝を申し上げます。

役員選出・会員の在り方・活動の進め方など、私たちの思い通りにならないかも。でも大丈夫！！神様がお喜びです。どんな時代でも、主共にいまして喜びに導いてくださいます。変化しつつも主を見上げて共に歩みましょう。

講演 内藤新吾牧師（稔台教会）

『いのちを愛し、平和を実現するために』を聴いて

2011年3月11日午後2時頃 なごや希望教会自由が丘礼拝所で内藤先生をお招きして“原発”の勉強会をしていました。

その最中、何人かの人々が“ふらふらする血圧が上がったのかしら？”

と言っていました。しばらくして東北で大地震と大津波、福島原発事故を知り驚きました。特に原発事故はひどく、大気中、地上、海、地下水に放射性物質が放出され、未だに帰宅困難が続いているのが現状です。

現在、南海トラフの巨大地震が想定されていますが特に原発事故を心配しています。原子力発電は稼働中、再稼働可能が沢山あるけれど、エネルギーを補う太陽光、風力、地熱などを利用し原発はゼロにしたいものです。

未だ、福島の放射能汚染物の処理、廃炉の処理は決まっていません。

今後、日本もドイツのように原発ゼロがいいと思います。

反原発を発信される、内藤先生の熱いお心は、後生の子ども達に自然と平和を伝えたいため。

私もそう思います。先生の上に神様からの祝福がありますように。

佐藤允子（なごや希望教会）



社会に目を向けてみれば

女性会連盟会長 中原通江

会場にあふれんばかりの人、人！ 教職の先生方の参加も嬉しいことでした。

100人規模の「女性会の集い」が賑やかに開催されたことは大変喜ばしく心よりお祝いを申し上げます。集いのテーマは「社会に目を向けよう」に即した原発に関する学習でした。まさしく「いのちを愛し、平和を実現するために」私たちキリスト者はどう生きて行くべきかが問われています。認識を深める良い機会となりました。

午後のアピールでは現代社会における子どもたちを取り巻く悲しすぎる現状に対して、子どもの心にどう寄り添っていけば良いかが示されました。

2つの学習とともに、ホッとする楽しいプログラムと交わりのひとときもありの素敵な集いに参加させていただきありがとうございました。

これからも女性会では社会に目を向けていこうではありませんか。「キリストと共に生きる」人になるために。

**小久保施設長のお話を聞いて**

服部典子（復活教会）

イエスは身を起こして言われた。「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この石を投げなさい。」（ヨハネによる福音書8章7節）

私は小久保施設長のお話を聞いて、この聖書の箇所を思い起こしていました。

今年1月と4月に我が家に2人の孫が与えられました。1月に長男の家庭に2番目の子、4月には長女に初子です。二児の母となったお嫁さんは、産前産後半年間、娘は産後1ヶ月我が家で暮らしました。お嫁さんと母親になった娘、三人でよく子育ての話をしました。虐待の話も勿論しました。お嫁さんはイヤイヤ期に入った上の子との対応に戸惑っていることも話してくれました。上の子は神経質で赤ちゃんの時ちょくちょく起きる為、良く眠れずイライラして怒鳴ったり、お尻をたたいたりしたと告白してくれました。ああいう時って自分の心の中に悪魔が入り込む感じだったとクリスチャンでもないお嫁さんは言っていました。この話を聞きながら、私も自分の子育て中に悪魔が何度も入り込み、虐待寸前のようなことを思い出しました。お陰様で現在我家では、何事もなく日常生活を送っています。

神様の深い愛のおかげと感謝しています。施設職員のお仕事は気の遠くなるほど、愛を注ぐ必要があるお仕事だということは想像がつかしました。

入所している子どもたちと職員の方々のためにお祈りしています。



まきばの家こどもの家から



小久保秀樹施設長

福祉までもが経済優先のうねりに巻き込まれ、予算とマンパワーが不足する施設において、施設養育の強みは何だろうと考えています。

個と個が集団の中で育ち合い、共感し合う心が育つこと。これこそが施設養育ならではの実感しています。まきばの家やこどもの家では、同年代の相手が自分と違うことを知り、互いに正義を語り、よく喧嘩を

しています。生活空間が一緒だからこそ気まずい関係のままではいられず、相手の立場に自分を置いて、他人を受け入れようと何度も繰り返します。スタッフが仲裁しようとして余計な一言を言おうものなら、「大人は正しいことばかり言おうとするよね」と一蹴されます。子どもの世界は互いに折り合いながら育っているようです。

一方で、「生きづらいんだ」という子どもたちの叫びに、現場のスタッフはたじろぎます。オブラートに包まない子どもの表現（ぐずり、暴言や暴力、無視をするなど）は、スタッフの人格を深くえぐり、常にスタッフ自身の生き方が問われています。子どもよりも年を重ね、さも物分かりがよく、薄っぺらな優しさを醸し出すスタッフがいたとすれば、子どもたちは相手にもしないでしょう。子どもも大人も結局のところ、摩擦がなくては育たないのかもしれませんが。摩擦があるからこそ、共感し合い、優しい心が育つのだと思います。

昨今、あえて人間関係を築かなくても、自分の興味があることだけで生活はできます。そんな結果として、モラルやエチケットへの意識が薄れ、人を排除したり尊厳を傷つけ合ったりしているのではないのでしょうか。

デンマーク牧場だからこそ、小さくまとまることなく、独自の展望が開かれていくように思います。今はまだ思いつきませんが、真摯に子どもの声を聞いていくうちに、いずれ進むべき方向を教えられるような気がしています。教会や地域、関係機関の方々に励まされ、背中を押していただきながら、心豊かに育ち合いたいと願っています。



高蔵寺教会での集い、小久保施設長から画像をとおして園内の様子、職員と子ども達の日常、そこから成長して行く過程、職員のご苦勞など、私たちが知らなかった園についてお話しくださいました。あまりにもお話に感動したので、集いに参加できなかった方々にも知って頂きたく小久保施設長に寄稿して頂きました。小久保施設長には感謝でいっぱいです。神様の祝福が大いにありますように S・S

あゆみの家・多くの支えが必要

社会福祉法人あゆみの家
総合施設長 田口 道治

東海教区女性会の皆さまには、あゆみの家を覚えてお祈りに加えていただけますことに深く感謝申し上げます。

創立48周年

1971年4月に障がいのある子どもの通園施設としてその働きが始められました。大垣ルーテル教会の会員数名の祈りにより起こされ、本年4月6日（土）に創立48周年の記念礼拝を行いました。障がいのある人たちの生活や日中活動、療育や相談、就労・就職の支援などに取り組み、利用者総数は約180名、職員総数は約150名です

新しい建物

昨年9月から本年4月の間に3棟の建物が完成しました。一つは「自由館」です。デイセンターあゆみの家の食堂整備だけでなく職員研修室、法人本部事務所などを備えた多目的建物で、研修室は別名「ボーマンホール」と名付けられました。二つ目は「ぐっどらんど」全面改築で、明るくてゆとりのある環境で利用者の皆さまが安心して作業に取り組めるようになりました。三つ目は、新しいグループホーム「別庄ホーム」で4月に完成しました。

支援者の不足

現在の大きな課題は、施設や事業所を利用される人たちの日々の生活や活動を支える支援者の確保です。生活に困難を抱える方々が慣れ親しんだ地域で安心して暮らし続けるためには、それを支える支援者が不可欠です。多くの支え手が必要です。

祈りによって起こされたあゆみの家で、48年の間、祈りをもって日々の取組が続けてこられたことを神さまに深く感謝しています。

あゆみの家をさらに詳しくお知りになりたい場合は、ホームページをご覧ください。

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>



「あゆみの家」役員皆で訪問 3月14日

どれくらい前でしょうか。はるか昔（!?）女性会がまだ婦人会と呼ばれていた頃、桑の実が色づく季節に、婦人会の企画で「あゆみの家」へ訪問した記憶があります。その頃の規模に比べると、びっくりするくらい大きく、そして立派な建物がいくつも建っていました。この岐阜・大垣の地で、大きな役割を担っておられるのが、施設の充実度から、そして総合施設長の田口さまのお話から十分伝わってきました。

「あゆみの家」の建物に入った瞬間、温かく包み込まれるような空気を感じました。朝、職員の皆さんは、御言葉を聴き、賛美をし、祈り、一日を始める。利用者の皆さんの活動も、賛美と御言葉を聴くことから始まるそうです。

「あゆみの家」が、ますます主に祝福された施設でありますように。そして神様の御言葉の上に立って運営される全ての施設が、主に導き守られ、祝されますよう心から祈ります。

澤田小枝子（挙母教会）

TNG 春キャンプ中高生報告

初めは「ベリーグッド」というテーマの意味がよく分からず、軽く受け止めていました。今はそれが神様の言葉で「極めて良い」と言って下さっていると知り、とても心強いと感じます。私たちが神様に背を向けるのは何故かと考えていた時、グループ最年長の人の意見がとても印象的でした。

それは「日々のルーティンです。毎日同じ様に生きていたら、毎日同じ様に幸せ。でも私たちはいつもより辛いこと、いつもより幸せなことがあると、より神様の存在を感じる。だから、少しでも刺激のある毎日を過ごせば神様に向き合う時間が増えて、背を向ける事が減るのではないか。神様からの「極めて良い」を素直に受け入れられるのではないか。」という言葉でした。いつも同じ事をして、同じパフォーマンスを発揮することは出来て当たり前の様ですが、ある意味難しく、そして大切な場合があります。でも、時には新しい事に挑戦し、いつもと違う考え方をする、そうすれば神様からの「極めて良い」を改めて感じながら過ごせるのでは…と。

今回の春キャンは、とても内容が濃く、いつもの2倍早く感じ、心に残ったのはいつもの3倍以上でした。毎回、春キャンに参加できるのは皆さんのご支援があればこそです。

いつもお支え頂きありがとうございます。

高校2年生 前田しずく（なごや希望教会）



次世代育成支援献金はどこへ？

【女性会では2種類の献金をしています】

1. 東海教区
 - ①堅信キャンプへの補助（教材費、講師謝礼、施設使用料、交通費補助等）
 - ②2015年より、春の全国ティーンズキャンプ（3月）とルーテルこどもキャンプ（8月）のためにも用いられています（参加費補助、引率者交通費補助）
2. 全体教会

女性会連盟からの支援献金は次世代育成プログラム（TNG）へ

 - * 春の全国ティーンズキャンプ（毎年3月末）……献金
 - * ルーテルこどもキャンプ（毎年8月上旬）………献金
 - * 活動全体への献金

東海教区宣教部長 宮澤真理子牧師から

次世代育成のためのプログラムを継続するため、教区女性会よりお支え頂き心より感謝いたします。信仰教育はすぐに結果が出るものではなく、継続することに意味があります。

時に応じて必要なことを子ども達に提供してまいりたいと思います。

これからも次世代育成のために、お祈りとお支えを頂けましたら幸いに存じます。

女性会のお働きに祝福がありますよう、お祈り申し上げます。

2018年度東海教区女性会会計決算書および2019年度予算書

		東海教区女性会会計				
款	項 目	18年度予算	18年度決算	19年度予算	備 考	
〔 収入の部 〕						
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	595,400	556,400	520,000	2,600円×214名
		会報購読料	36,000	36,000	36,000	500円×72名
	小計(a)	631,400	592,400	556,000		
	指定献金	連盟献金(b)	41,000	47,000	50,000	14教会
	支援献金	感謝献金	101,000	90,400	100,000	18教会
		サバ神学生	106,000	98,800	100,000	22教会
		リーストコイン	54,000	65,084	70,000	20教会
		署名キャンペーン	26,000	29,800	30,000	20教会
	TNG支援	60,000	62,300	60,000	19教会	
小計(c)	347,000	346,384	360,000			
合計A (a+b+c)		1,019,400	985,784	966,000		
教区	会費	教区会費(正)	366,400	342,400	320,000	1,600円×214名
	小計(d)	366,400	342,400	320,000		
	総・大会役員	当年献金額	45,400	42,800	40,000	200円×214名
	旅費積立金	総大会旅費積立繰入	54,600	8,320	0	
	小計(e)	100,000	51,120	40,000		
	補助金	小計(f)	0	0	0	
	その他	利息	0	10	0	内訳:一般6円、旅費4円、次世代0円
		雑収入	0	23,800	0	グリーンズフェア売上
	小計(g)	0	23,810	0		
	特別献金	席上献金	170,000	162,261	160,000	女性会の集い: 89,410円+72,851円
		指定献金	0	0	0	
	小計(h)	170,000	162,261	160,000		
	支援献金	次世代育成支援	100,000	77,000	80,000	20教会
		次世代育成支援補填	0	23,000	0	預金通帳より(前年度繰越金)
		福祉村	100,000	74,200	70,000	19教会
まきばの家こどもの家		80,000	78,200	70,000	21教会	
あゆみの家		70,000	64,200	70,000	18教会	
小計(i)	350,000	316,600	290,000			
前年度繰越金(j)		748,988	748,988	582,089		
合計B (d~j)		1,735,388	1,645,179	1,392,089		
合 計 (A+B)		2,754,788	2,630,963	2,358,089		
〔 支出の部 〕						
連盟	会費・会報	連盟会費(正)	595,400	556,400	520,000	
		会報購読料	36,000	36,000	36,000	
	小計(a')	631,400	592,400	556,000		
	指定献金	連盟献金(b')	41,000	47,000	50,000	
	支援献金	感謝献金	101,000	90,400	100,000	
		サバ神学生	106,000	98,800	100,000	
		リーストコイン	54,000	65,084	70,000	
		署名キャンペーン	26,000	29,800	30,000	
	TNG支援	60,000	62,300	60,000		
小計(c')	347,000	346,384	360,000			
合計A' (a'+b'+c')		1,019,400	985,784	966,000		
教区	活動費	事務費	80,000	123,527	100,000	
		通信費	25,000	8,342	20,000	
		役員会費	203,000	164,155	180,000	
		集会費	300,000	247,615	250,000	
		会長旅費	15,000	1,000	15,000	
		慶弔費	10,000	0	10,000	
		雑費	2,000	1,091	2,000	支払手数料
		小計(d')	635,000	545,730	577,000	
	総・大会参加費用	小計(e')	100,000	51,120	0	
	支援金	特別支援金	50,000	89,410	80,000	集い席上献金(西教区災害支援)
		次世代育成支援	100,000	100,000	100,000	
		福祉村	200,000	134,426	150,000	集い席上献金(36,426円)+グリーンズフェア売上(23,800円)
		まきばの家こどもの家	80,000	78,200	70,000	
		あゆみの家	70,000	64,200	70,000	
	小計(f')	500,000	466,236	470,000		
予備費(g')		500,388	0	305,089		
積立金繰出	役員旅費積立金繰出	0	4	40,000	受取利息4円	
	次世代育成支援繰出	0	0	0	受取利息0円	
小計(h')	0	4	40,000			
次年度繰越金(i')			582,089			
合計B' (d'~i')		1,735,388	1,645,179	1,392,089		
合 計 (A'+B')		2,754,788	2,630,963	2,358,089		

2019年2月24日会計監査で2018年決算のご承認をいただきました。

当日2月24日役員会にて2019年予算が承認されました。

感謝をもってご報告いたします。 会計 片川三枝子

教区会長会 & 講演会のお知らせ

場所：掛川菊川教会

日時：11月16日（土）午前10：30～15：00

各教会女性会会長 役員様へ

どこの教会でも問題、悩みがあるのは、現実でしょうが現状は避けられません。祈りながら豊かな教会生活をしたいものです。

そうした中、皆様の忌憚のない話し合いの場を企画しました。

東海教区の女性会が今より向上し、来期の新役員の方々が喜びをもって奉仕頂けますよう、神様からの知恵を頂き、話し合いたいと思います。

教区全ての女性会からのご参加をお願いします。

午前の講演はブルンジ難民支援の会、代表横田牧師から難民支援活動についてのお話を聴き、ボランティア活動の説明をしていただきます。

まきばの家こどもの家クリスマスカードプレゼント 30枚

ディアコニア クリスマスカードプレゼント 120枚

皆様に作成ご依頼 各女性会長様に当日ご説明いたします。

東海教区女性会 経過・今後の予定

2019年1月 会計監査 なごや希望教会 於

3月 あゆみの家 役員4名訪問

5月 グリーنزフェア バザー売上・福祉村へ献金

5月 女性会の集い 高蔵寺教会 94名の参加

6月 連盟主催合同役員会（ルーテル神学校）坂井会長出席

8月 アガパンサス3号発行

11月 会長会 掛川菊川教会 於

12月まきばの家こどもの家・ディアコニア クリスマスカードプレゼント

*2021年6月8日～9日女性会連盟 第25回総・大会 会場：熊本テレサ

✚ 編集後記 ✚

5月高蔵寺教会での第2回女性会の集いでは、“社会に目を向けよう”のテーマで94名の参加者と共に集えたこと、心から感謝します。講演の感想を4名の方に、また高校生が充実した春のキャンプ報告をして下さいました。皆様のご協力によりアガパンサス3号を発行することができ役員一同心から感謝申し上げます。